

News Release

2022年8月16日

報道関係 各位

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

コカ・コーラ ボトラーズジャパン、ウエルシアホールディングスとの「ボトル to ボトル」協働事業の実施エリアを拡大 さらなる日本国内の PET ボトルの水平リサイクルを推進、11 月に三重県より開始

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 最高経営責任者:カリン・ドラゴン、以下 当社)は、ウエルシアホールディングス株式会社の子会社ウエルシア薬局株式会社、および協栄産業株式会社と協働する、水平リサイクル(※)「ボトル to ボトル」事業における使用済み PET ボトルの回収実施エリアを順次拡大します。現在実施している栃木県・茨城県(注1)に加え、ウエルシア薬局の東海地域の一部と近畿地域の310店舗を対象とし、本年11月から三重県内の29店舗にて使用済み PET ボトルの回収を開始します。

(※) 使用済み PET ボトルを回収・リサイクル処理したうえで PET ボトルとして再生し、飲料の容器として用いること。

3社が協働する「ボトル to ボトル」では、ウエルシア薬局店頭で使用済み PET ボトルの回収ボックスを設置、回収された PET ボトルは再生 PET 樹脂メーカーの協栄産業株式会社により収集され、同社工場にて粉砕・洗浄などの工程を経て、PET 原料として再原料化されます。再生された PET 原料は、当社各工場にてコカ・コーラ社製品の容器に使われます。

当社とウエルシアホールディングスは、2020年9月、栃木県内一部のウエルシア薬局店頭にて回収・分別された使用済み PET ボトルを再原料化し、当社各工場にてコカ・コーラ社製品の容器として使用する「ボトル to ボトル」のモデルを構築することを目的とした実証実験を実施しました。使用済み PET ボトルの回収量、質、回収コストなどの検証を行い、2021年より回収地域を栃木県全域、茨城県に拡大してまいりました。

当社はコカ・コーラシステムが目指す「容器の2030年ビジョン」(注2)において、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいます。当社が有する使用済み PET ボトルの回収・再資源化に関する実績と、ウエルシアホールディングスの販売網を連携した「ボトル to ボトル」の取り組みの実施エリアをこのたび拡大することで、日本国内におけるさらなる PET ボトルの循環利用への貢献を目指します。

【ウエルシア薬局との「ボトル to ボトル」協働事業プロセス】



(注 1)

2020 年 9 月、栃木県内のウエルシア一部店舗（11 店舗）に PET ボトル回収ボックスを設置し、「ボトル to ボトル」のリサイクルモデル構築に向けた実証実験を実施。

（ニュースリリース <https://www.ccbji.co.jp/news/detail.php?id=880>）

その後、対象地域・店舗を拡大し、2021 年 6 月に栃木県（56 店舗）、2022 年 2 月に茨城県（113 店舗）にて本格展開

(注 2)

「容器の 2030 年ビジョン」とは (<https://www.ccbji.co.jp/csv/environment/?id=tab3>)

2025 年までにすべての PET ボトル製品へのリサイクル PET 樹脂などのサステイナブル素材（※）の使用、2030 年までに販売した自社製品と同等量の PET ボトルの回収、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいます。

※サステイナブル素材：「ボトル to ボトル」によるリサイクル PET 素材と、植物由来 PET 素材の合計

※ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。最新の情報と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。